

銘柄米生産情報

会津若松市・磐梯町・猪苗代町
JA会津よつば（あいづ地区）・福島県農業共済組合会津支所
全農福島県本部・福島県会津農林事務所農業振興普及部

東北地方1か月予報 <仙台管区气象台 R8.8.27 発表> 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】東北地方	20	30	50
【降水量】東北地方	30	30	40
【日照時間】東北地方	30	40	30

天気は数日の周期で変わるでしょう。
平均気温は、高い確率50%です。

凡例: ■ 低い（少ない） ■ 平年並 ■ 高い（多い）

1 今後の管理のポイント

- 1 出穂期は、品種により平年並みから2～3日早く、また、出穂後、高温が続いているため、刈取り時期が早まっています。刈遅れると、胴割れ等が発生し品質低下につながります。適期刈取りで、高品質な玄米を生産しましょう。
- 2 異物や異品種の混入を防止するため、ほ場内の雑草除去や丁寧な選別作業を行いましょう。
- 3 雑草イネが発生した場合は、状況に合わせて適切に防除しましょう。

2 技術対策

【適期刈取り】

- 1 出穂後の積算気温から、収穫適期を予測しましょう。
- 表1を参考に、おおよその予定を立て、落水や収穫作業に関わる機械、施設の準備をしましょう。今年は、出穂、登熟とも早まっているので、ほ場の確認と共に、早めの準備を心がけましょう。
 - 積算気温だけでなく 必ず籾の黄化状況を確認し、適期に刈取り作業を行ってください。

表1 出穂後の積算気温による収穫適期の目安

地域別	品種名	出穂期	刈取適期積算気温	刈取り適期
平坦部	ひとめぼれ	7月28日	950～1,050℃	9月4日～7日
	天のつぶ	7月29日	1,000～1,100℃	9月7日～11日
	コシヒカリ	8月7日	1,000～1,100℃	9月18日～22日
山間地	ひとめぼれ	8月7日	950～1,050℃	9月21日～26日
	里山のつぶ	8月4日	1,000～1,250℃	9月19日～10月4日

（＊8月26日までのアメダス若松及び猪苗代の実況値を使用）

稲わらや籾殻は焼却せずに、有効に活用しましょう！
秋に稲わらをすき込むことで、ガスわきが抑制され、土壌の保水力や窒素供給力が向上し、堆肥施用と同等の土づくり効果が期待されます。

2 粃の黄化状況で刈取りの最終判断をしましょう。

- ・ 穂の85～90%の粃が黄化した頃（1穂中に淡緑色の粃が10～15%残っている）が刈取り適期になります（図1）。
- ・ 熟色は、品種や栽培方法により違いがありますので、よく観察しましょう。

天のつぶ：成熟期になっても葉や枝梗が青い傾向です。

コシヒカリ：2次枝梗が多く、登熟に日数がかかります。

- ・ 刈取りが遅れると、胴割粒の発生や品質低下の要因となるので注意してください。

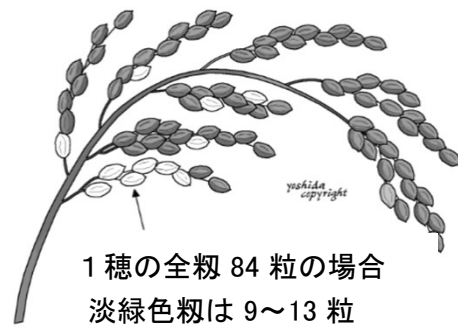


図1：刈取り適期の稲穂

【稲わらすき込みは秋のうちに…】

1 次年度の強還元状態（ガスわき）を抑えるポイント

- ・ 石灰窒素や分解促進資材（ワラ分解キング等）を施用しすき込むと腐熟が促進されます。
- ・ 鉄を含むケイ酸資材（田んぼマスター等）を施用すると高温・ガスわき対策になります。
- ・ 地温の高い10月のうちに行い、耕深は浅めに行いましょう。
- ・ 秋耕を行ったら、排水溝を設置し、ほ場の排水を促しましょう。

2 稲わらの野焼きは行わないでください

- ・ 稲わらは有効な資源です。焼却せず無駄にしないようにしましょう。

3 雑草イネ対策

～収穫期における防除が有効です！～

雑草イネが発生したほ場では、その種子が脱粒して翌年の発生源となります。
この種子が隣接ほ場に拡散していくと、地域全体に拡大する可能性があります。

1 収穫までの防除のポイント

- ・ 株元から抜き取る。
- ・ 穂を刈り取る場合は、再生する遅れ穂も注意して抜き取る。
- ・ 数日間空けて収穫前まで抜き取りを繰り返す。
- ・ 抜き取った株や穂は畦畔やほ場付近に放置せず、確実に処分する。

2 機械による拡散防止のポイント

- ・ 発生状況を確認し、雑草イネ確認ほ場での収穫は未発生ほ場の後に実施する。
- ・ 作業後の機械の洗浄を徹底する。

3 収穫後の防除のポイント

- ・ 収穫後は耕起せず、低温による種子の死滅と鳥類等による種子捕食を促します。
- ・ 多発したほ場は水田に除草剤登録のある非選択性除草剤を散布します。
- ・ 発生が多いほ場は、耕起前に稲わらを除き石灰窒素50kg/10aを目安に散布します。
※石灰窒素は肥料効果があるため、生育過剰にならないよう次作は減肥を検討する必要があります。（ほ場や気象条件により異なります。）

～さまざまなリスクに備え、収入保険に加入しましょう！～
青色申告を行っている農業経営者が対象です。お問い合わせは農業共済組合まで！

秋の農作業安全運動が実施されます！（9/1～10/31）

- ・ 共同作業やほ場への侵入等、周囲の確認をしっかりと行いましょう！
- ・ 作業前はオペレーターと補助作業員で打合せを行いましょう！
- ・ 機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！